

【日時】 2020年(令和2年)6月1日(月) ※時間数は適宜

【目標】

- ・ 学校でのつながり確かめ、安心して学校生活を再開できる雰囲気をつくる。
- ・ 「休業しない」を目標に学校生活を見直し、工夫を進めながら考えて行動する力をつける。

【展開】

生徒の学び	留意事項
<p>1 休業中の生活について振り返り、他の生徒や先生に伝えたい思いを書く。</p> <p>2 考えたこと、書いたことをグループ等で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各生徒の様子に応じて、自由に書いたり、視点を設定して書いたりできるようにする。 (例)「休業中の学習成果」「わたしの過ごし方」「これからの学校生活」「世の中の変化」等 ・ 生徒が思いを伝え合う、つなげる時間にする。各自が書いたものは、通信等で全体でもつなげられるように活用する。 ・ 交流に十分な時間を使えるようにする。また、交流する時間を通して、学校で過ごす時間をどのように感じたかについても語れるようにする。
<p>3 自校での「休業を防ぐ行動」を考え、場面を分担して、何ができるかについて意見を出し合う。 (例)「登下校時の昇降口での密を防ぐために…」「休憩時間のトイレでの密を防ぐために…」「掃除時間には…」</p> <p>4 出し合った意見を交流し、考えたことを自校の生徒や校区の小学生につなげる方法を考える。</p>	<p>※ それぞれが一人で過ごした時間と、学校で仲間と過ごす時間を緩やかにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3回目の休業を防ぐ」という視点で、これまでの学校生活を見直す。「感染を広げない」のが最優先の目標であることを常に意識して、何ができるかを考えられるようにする。<u>「感染を広げない」ための仕組みを、生徒が考え実行できるようにする。</u> ▲ 「感染が悪」という意識につながりそうな場合は修正する。 ・ 自分たちが考えた「休業を防ぐ行動」をもとに、対象を想定して伝える方法を考える。考えた方法は学校で実行に移したり、家に持ち帰って準備したりできるようにする。